

松戸保健所管内感染症情報

2026年度第1号

発行／松戸保健所（松戸健康福祉センター） 疾病対策課
発行日：2026年4月3日

2026年第12週 2026.3/16～3/22
2026年第13週 2026.3/23～3/29

保健所からのお知らせ

本年度もどうぞよろしくお願いいたします。
麻しん(はしか)の感染者が千葉県内や全国で多数報告されています。
引き続き発生動向に注意が必要です。

【全数把握対象疾患】保健所管内で報告のあった疾患のみ掲載しています。全数報告集計表については、別添をご覧ください。

	(2026年第12週・第13週)	(2026年累計第1週～第13週)
2類感染症	結核 4	23
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1	2
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症 2 梅毒 2 播種性クリプトコックス症 1 百日咳 1	6 11 1 9

【定点把握対象疾患】

上段：報告数 下段：定点当たり報告数（定点一か所から一週間にどの位の患者報告があったかの平均値） 前週比： ↓減少 →横ばい ↑増加

	疾病名	前週比	第13週	第12週
小児科 定点	RSウイルス感染症	↑	13 1.18	6 0.55
	咽頭結膜熱	↑	2 0.18	1 0.09
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	41 3.73	48 4.36
	感染性胃腸炎	↑	72 6.55	71 6.45
	水痘	↓	2 0.18	3 0.27
	手足口病	↑	2 0.18	— —
	伝染性紅斑	↑	1 0.09	— —
	突発性発疹	→	2 0.18	2 0.18
	ヘルパンギーナ	→	— —	— —

	疾病名	前週比	第13週	第12週
急性呼吸器感染症	インフルエンザ	↓	120 6	188 9.4
	新型コロナウイルス感染症	↓	20 1	25 1.25
	急性呼吸器感染症(ARI)※	↓	1551 77.55	1604 80.2
眼科	急性出血性結膜炎	→	— —	— —
	流行性角結膜炎	↓	1 0.2	7 1.4

※急性呼吸器感染症（ARI）
咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

【松戸保健所管内居住結核新登録患者数】

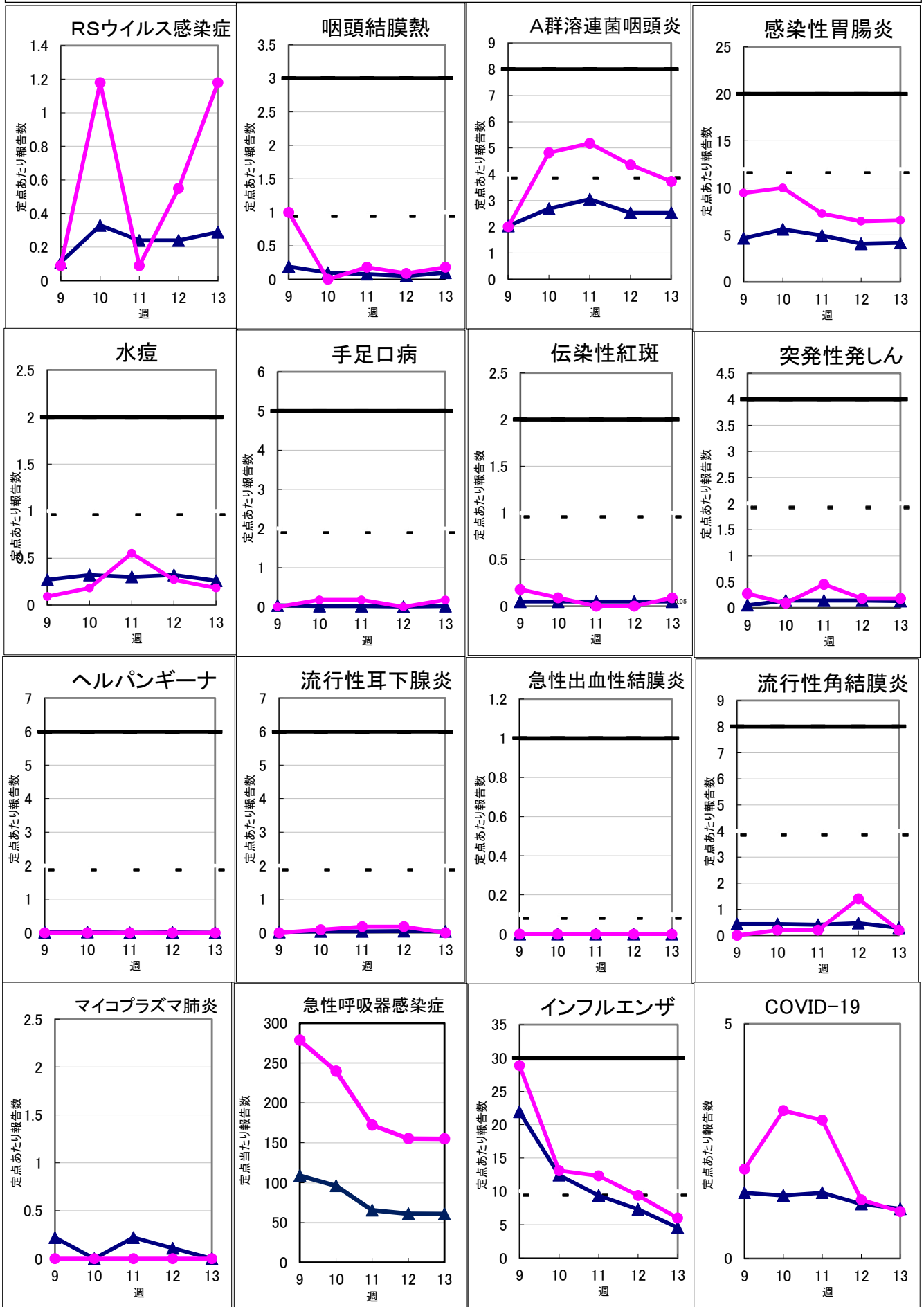
結核種別	患者数
活動性結核	
喀痰塗抹陽性	2
その他の結核菌陽性	0
菌陰性その他	1
活動性肺外結核	0
無症状病原体保有者（潜在性結核感染症）	4

【集団感染発生状況】

疾患名	報告数
インフルエンザB型	保育施設 1

松戸保健所管内の感染症発生動向（直近5週）

● 松戸保健所管内 ▲ 千葉県全体 — 警報基準値 - - - 終息基準値



1. 麻しん(はしか)患者の発生について

令和8年4月2日に千葉県で麻しん(はしか)患者の発生について報道発表がありました。

【患者概要 1例目】

- (1)基本情報 報:20代・男性、市原市在住、麻しん予防接種歴:2回
(2)麻しん患者との接触及び海外渡航歴:なし
(3)症状 状:発熱、倦怠感、鼻汁、発疹、咽頭痛、頭痛

【患者概要 2例目】

- (1)基本情報 報:20代・男性、成田市在住、麻しん予防接種歴:なし
(2)麻しん患者との接触及び海外渡航歴:なし
(3)症状 状:発熱、倦怠感、咳、鼻汁、結膜充血、コプリック斑、発疹

★千葉県報道発表資料は以下をご参照ください。
[260402measles.pdf](#)

★厚生労働省のホームページに麻しん(はしか)について掲載されています。詳細は以下をご参照ください。
[麻しん\(はしか\) | 厚生労働省](#)

麻しんは感染力が非常に強く、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。免疫を有していない人が感染すると、ほぼ100%発症すると言われています。

🌟 麻しん(はしか)の予防方法 🌟

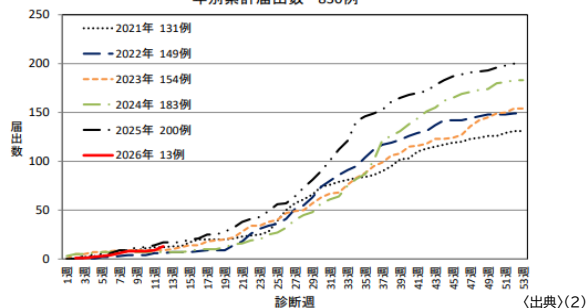
予防接種が最も有効です。

母子手帳などで予防接種歴を確認しましょう。

定期接種を2回受けていない方や接種歴が不明な方は、かかりつけ医に相談して接種を検討してください。

2. 腸管出血性大腸菌感染症について

図1 2021年~2026年第13週 千葉県の腸管出血性大腸菌感染症
年別累計届出数 830例



千葉県では、2026年第12週に県内医療機関から4例の腸管出血性大腸菌感染症の届出がありました(1)。第13週には新たな届出はなく、2026年の累計届出数は13例となりました(図1)。

全国では、2026年第12週に計26例の届出があり、2026年の累計は342例となりました(2)。

また、溶血性尿毒症症候群(HUS)を合併した患者の発生があり、令和8年3月23日に千葉県では注意喚起のために報道発表を行いました。(同日、松戸保健所感染症情報から臨時号を配信済み)

千葉県報道発表資料は以下をご参照ください。

[Microsoft Word - 260323【報道発表】\(疾病対策課\)感染症予防のための情報提供について\(腸管出血性大腸菌感染症HUS\)](#)

🌟 腸管出血性大腸菌感染症とは(1) 🌟

●感染経路

腸管出血性大腸菌は牛🐄など家畜の腸管内にすることがあり、その糞便で汚染された食品や、糞便で汚染された場所を触った手指から経口的に感染します。

●腸管出血性大腸菌とは

大腸菌の中にはベロ毒素を産生し、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群(HUS)を起こす腸管出血性大腸菌と呼ばれているものがあります。

●潜伏期間

3~5日が最も多いです。

●症状

無症状の場合から軽度の下痢のみで終わるもの、激しい腹痛、頻回の水様便、さらに著しい血便とともに重篤な合併症である溶血性尿毒症症候群(HUS)になる場合もあります。

※HUSとは・・・

溶血性貧血、血小板減少、急性腎障害の3主徴をもって診断となります。

一般にHUSは腸管出血性大腸菌感染症の患者の約1~10%に発症し、下痢あるいは発熱出現後4~10日に発症することが多いです。

●感染経路別の予防方法の例

①食品を介した経口感染(食べ物から人への感染)

焼肉やバーベキューでは、生肉を扱うトンぐや箸と食事用の箸を必ず分け、中心部まで十分に加熱してください。
(中心部が75℃、1分間以上の加熱)

②手指を介した経口感染(人から人、動物から人への感染)

以下のような際には、必ず石けんと流水でよく手を洗いましょう。

- ・排便後や下痢をしている乳幼児や高齢者の世話をした後
- ・食事の前
- ・牧場などで動物や柵、砂・土等に触れた後

(出典)

(1)千葉県結核・感染症週報2026年第12週
[wr2612.pdf](#)

(2)千葉県の腸管出血性大腸菌感染症発生状況 2026年第13週
[202613ehc.pdf](#)